

第4回遊佐町立学校適正整備審議会 会議録

会議日時 平成30年7月25日（水曜日） 19時00分～21時00分

会議場所 遊佐町役場 議事所

出席者 伊藤 順一（遊佐町小中学校長会会長）
松本 三也（遊佐町小中学校長会）
太田 くみ（蕨岡まちづくり協会）
佐藤 憲三（遊佐地域づくり協議会）
伊藤 悦子（西遊佐地区まちづくりの会）
佐藤 浩毅（吹浦地区まちづくり協議会）
今野 博義（蕨岡小学校PTA会長）
川俣 善幸（遊佐小学校PTA会長）
阿部 勝志（高瀬小学校PTA会長）
畠中 裕之（吹浦小学校PTA会長）
那須 正幸（遊佐中学校PTA会長）
池田与四也（遊佐町総務課長）
伊藤 新一（遊佐中学校教育後援会会長）
伊藤 淳子（杉の子幼稚園園長）

欠席者 眞嶋 一（稲川まちづくり協会）
小田原 裕（高瀬まちづくりの会）
高橋 智（藤崎小学校PTA会長）
佐藤 美紀（前遊佐中学校PTA副会長）

傍聴人 山形新聞社 1名

協議事項 （1）第3回遊佐町立学校適正整備審議会会議録の承認
（2）資料の説明（遊佐小に統合した場合の教室数等）
（3）意見交換
①具体的な統合時期等について
②その他

※以下、赤字の部分については個人情報取扱いの観点より公開は控えさせていただきます。
協議内容の概要

教育課長 皆さんご苦労さまです。連日暑い日が続いておりますが、高校野球も県代表が決まりまして、羽黒高校が何年ぶりで出場決定になったようです。その中でありますが、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。第4回遊佐町立学校適正整備審議会を始めさせていただきます。始めに伊藤会長よりあいさつをいただきたいと思います。

伊藤会長 改めましてこんばんは。毎日の暑さ身に染みるこの猛暑でございますが、おとといでしたか、埼玉の熊谷では41.1℃という観測以来史上最高の暑さということで記録されたようでございます。41.1℃と聞いただけでも熱中症になるような数字でございますが、その点比べますと地方は暑いんですが、恵

まれているなとつくづく思うところがございます。そしてまた西日本の豪雨の災害、この猛暑の中、避難所で暮らしている方を想像いたしますと、我々は本当にいいエリアにいるのだなとつくづく感じているところがございます。今日は第4回目の審議会、1回、2回、3回といろんな視点から皆さまのご意見ご要望等出ました。今日はその流れに沿って具体的にどこに何年にというところまで進んで審議を進めていければありがたいと思っております。皆さまのご協力のほどよろしくお願いいたします、あいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

教育課長 ありがとうございました。始めに事務局から経過報告をさせていただきます。前回の第3回適正整備審議会は6月28日でありました。第2回の会議録の承認を得まして、その後資料の説明、今回も添付させていただきましたが、児童数の推移、6月1日現在のお話をさせていただいております。これについては定住移住関係で転入出がございますので、その都度変わる場合がございます。そのために毎回月初めの数値として皆さま方には配布させていただきたいと思っております。その後、遊佐小と遊佐中の見取り図的なものを配布させていただきました。教室数がどのようになっているか説明させていただきました。その後、意見交換として皆さま方からそれぞれご意見をいただきました。大まかな意見としては、将来的には統合ではないかという意見が大半でありました。統合が遊佐小になった場合、教室が足りないのではないかと、地区の行事をどうするか、スクールバスの問題をどうするか、教室が足りない場合は校舎を増築するのか、というような問題点が出されたようです。

そして、将来入学するであろう現保育園・幼稚園の保護者の皆さまの意見をもらった方がいいというお話があり、現在、複式となっています蕨岡小学校の現状を見ますと昔から言われているような複式とは現在は違うと認識の違いも意見として出されております。蕨岡小の今回の複式については人数が不足してなったということもありますが、あわせて特別支援学級ができたため、学級数は6つと変わっておりません。このため教務主任が配置になっている状況もありますので、本当に人数が減った複式とは若干違っております。以上、このようなご意見をいただいて終了いたしました。

前回の会議録の署名については、佐藤憲三委員と眞嶋一委員にお願いしております。後ほど承認を得ましてから署名をお願いします。本日の署名委員につきましては、伊藤悦子委員と佐藤浩毅委員にお願いいたします。それでは協議は伊藤会長にお願いします。

伊藤会長 それでは協議に入らせていただきます。第3回遊佐町立学校適正整備審議会会議録の承認についてでございます。皆さまに事前に送らせて頂きました会議録をお読みになられたことと思いますが、会議録につきまして承認いただける方、挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員挙手ですので承認とさせていただきます。それでは続きまして、(2)遊佐小に統合した場合の教室数等について、事務局より説明をお願いします。

教育課長 それでは説明させていただきます。今回資料ですが、A 3 の遊佐小図面と児童数の推移（7 月 1 日現在）のもの。それから遊佐町の児童数の推移 A 4 横のもの。遊佐町の児童数の推移と 1 小学校統合時の学年別教室配置数 A 4 横のもの。今回 3 枚資料として提示させていただいております。

最初に毎月出している 7 月 1 日現在の教育課資料、児童数の推移 7 月 1 日現在の新しい数字であります。前回もお出ししました通り、この数字実は変わっておりません。異動はなかったということですが、色付けしているところ、ピンクがかっているところ複式になっているところでありまして、相変わらず高瀬小は 3 4 年度から複式が出てくる状況になっております。現在 3 1, 3 2 年度については蕨岡小、現 3, 4 年生が複式になっているところであります。前回から直したところは 1 番下標準学級数がございまして、これが 4 0 人学級、文部科学省が出しているところの数字で割りかえた場合の学級数であります。前回間違っておりましたので訂正して出させていただいております。

A 3 の遊佐小の見取り図であります。前回出した資料は A 4 版で大変見にくかったというところもございまして、大きくして再度提出させていただきました。赤い数字が現学級、将来的に増築しないで小学校の中を改築して、仕切りなどを設けまして教室にできるスペースがこういうところではないかということをお示しさせていただいたものであります。番号の赤い 5 番と 1 0 番が 4 組教室、3 組教室となっております。これは今現在特別支援学級になっておりまして、オープンスペースがなくて扉で仕切りになっております。こちらは将来的にもそのまま特別支援教室ということで使わせていただいた方がいいかと思ひまして、そのまま数字は入れておりますが、普通教室でない場合はもう 2 つ普通教室が必要になってくるということを考えますと、ランチルームが広い場所としてございますのでそちらを 2 つに区切りまして、特別支援教室となった分の普通教室の分に割り当てさせていただければ、全部で 1 9 教室くらいは確保できるのではないかと資料であります。あとは、設計上はどうしても壁の中の柱までいったメーター数でこの平米数になっていますが、今回測ったメーターについては我々の目視で壁の手前から、ある程度、人が出入りできるスペース的なところのメーターになってございますので、設計書のメーターとは若干違っています。ご了承願いたいと思います。

もう 1 枚の資料、現在の児童から、7, 8 年後の児童数の推移を見まして、学年ごとの人数と必要な教室を分かりやすくのせている資料でございます。1 年～6 年までの合計のところを見ていただきますと 1 番上の欄は 3 3 年度でありますので、全部足して 2 1 教室必要、特別支援学級 2 つ、普通教室 1 9 という形でこれくらいの教室は必要ではないかということになっております。それが平成であれば 3 5 年、西暦で 2 0 2 3 年度には特別支援学級が 2 つ、普通学級が 1 7、全部で 1 9 になるという形のようにございます。推計する人数に応じて学級数が少しずつ減っていくという形になりますが、※印の 1 年生 6 5 名の数字から見込みの数字となります。昨年度は 8 2 名の皆さんが出生されておりますが、その前が 6 4 名。まずは最低限のさんさんプランでいきますと 6 6 人まで 2 クラス、6 5 人であれば 2 クラスではないかという形の数字であります。これより増えれば 3 クラスになりますので、それぞれ合計も変わってくるという形になるようであります。資料の補足について教育長からあればよろ

しくをお願いします。

伊藤会長 ありがとうございます。ただいま事務局の方から遊佐町の児童数の推移、遊佐小学校の教室数の見取り図を提示していただいた上でご説明いただきましたけれども、この件に関しまして委員の皆さまご質問等あれば挙手の上お願いいたします。

今野委員 人数の書いている資料を2枚いただいています、審議会に同じような資料を提出するのであれば少なくとも人数はどちらが正しいのか合わせて提示いただきたいと思います。

伊藤会長 はい。事務局。

教育課長 大変失礼をいたしました。合計数につきまして※印のところ1名ずつ違っておるようであります。平成38年が431名と横版はなっていますが、縦版は432名でありました。再度こちらで精査して次回、申し訳ございませんが訂正するところはして提出させていただきたいと思います。39年度につきましても若干違っているということでもありますので合わせて精査をさせていただきます。申し訳ございません。

伊藤会長 今野委員よろしいでしょうか

今野委員 はい。

伊藤会長 ありがとうございます。次回、修正、訂正の上ご提示願えればありがたいと思いますのでよろしくお願いします。

その他ございませんでしょうか。

佐藤（浩）委員 今、課長から話があったので確認したいと思いますが、1クラス66人以上になった場合、2クラスになるということでしょうか。

教育課長 67人からは3クラス、66人までが2クラス。

教育長 67になると3つ、さんさんプランだから。1クラス最大33人。

佐藤（浩）委員 その辺をはっきりと言って説明していただかないと理解できないので、65人、66人、67人の時はどうなるのかももう1回説明してほしい。

教育課長 さんさんプランでいきますと、1クラス33人までということになります、33+33で66までが2クラスで、67人になりますと3クラスになってしまいます。3クラスになると割って20数名になる形のです。65名の場合は33+32名の2クラス。

教育長 もう少し言うと、大きい学校だと99とか100の学校もある。99だと3で割って33、33、33で3クラス。100だと1人増えるので4クラスになる。微妙なところ。1人増えるかで学年が3クラスになったり4クラスになったりする。そういうことを山形県はやっている。それに基づいて数字を出している。

伊藤会長 さんさんプランを基本にしています。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

児童数の推移、遊佐小学校の見取り図をご説明させていただいているわけですので、19ルームまで確保できるというような見取り図であります、この辺に関しましてご質問等ございませんでしょうか。図面上で、赤字で19教室は確保できるということではございますが、やはり紙面で見ると学校を実際に生きた目で見ることも必要だと思いますので、次回あたりに遊佐小学校に出向いて皆さんと共に視察も含めて審議会の大きな材料として、確認事項として

皆さんと一緒に視察できればと考えております。その節はご協力をよろしくお願ひしたいと思っておりますのでございます。

教育長

1 点いいでしょうか。1 4, 1 5 番図工室あります。この面積、この数字では教室 2 つ可能ではないかなということですが、これは検討課題です。やっぱり狭いです。1 つの教室より大きいのが 2 分すると小さい。そういうこともありますので、一度ご覧いただいて、下の方で言えばランチルームも相当スペースがあるので可能かと思ひます。今のプレハブの技術、ノウハウも大変進んでいきますので、学校とくっつける感じでプレハブの教室、むしろそっちの方がいいのかなという思ひもあります。それは財政の絡みもありますし、配置の問題もありますので実際に学校を見ていただいて、そして財政面のことは総務課長も今日はおいでいただいておりますので、これは事務局の 1 案ですので私のひとり言と思ひて聞いていただきたいと思ひますけれども、その辺も含めて皆さんからは図面等をご覧いただいてご検討いただければと思ひておりますのでございます。

伊藤会長

今、図工室 1 4, 1 5 番の件に関して、教育長からひとり言がございましたが、9 6. 6 m²を 2 つに割れば単純に 4 8. 3 m²ということですのでイメージ的には狭いかなと、7 5 m²が基本と聞いておりますけれども、この辺は 1 つ課題として視察を兼ねて確認していく課題かなと思ひます。

その他ございませんでしょうか。

あと校舎そのものが仕切りとかというようなことで、その他には教育長がプレハブという言葉も出てきました。最近のことを考えますとこの通りすごい猛暑でございますし、また冬場は大変寒い訳です、そういった意味でも教育環境、環境整備の件でも、これを機会に相当の児童の学習環境を整える上でも設備投資みたいなものも必要なのではないかなという声もありますが、事務局どうでしょうか。

教育課長

施設整備につきましては、統合した場合の教室にもよりますが、プレハブにするのか、現在の建物の中を区切ってやるのか、そういった施設改良に掛かる経費もございしますので、一概には言えないところもありますが、1 つにすることによって今まで 5 つの学校に掛かっていた経費が 1 つになれば、今まで掛かっていた経費がいくらか、維持費的なものが必ず半分以下になってくるかこちらでは考えておりますので、そういった費用も、提案がありました環境整備に費やすことは十分可能と思ひておりますので、今後の計画作成段階で出てくることかなと思ひておりますのであります。

伊藤会長

ありがとうございます。何かその他ご意見等も含めてございせんか。

佐藤（憲）
委員

今遊佐小学校の見取り図を見させてもらいました。我々が委員という立場で審議会に参加しているからには、まず予想される学校に足を運ぶ、これが基本だと思いますし、私も現役時代の統廃合の経験からもまず我々は実際に見てみる。それで狭い広い、それから 1 階 2 階と広範囲に教室が分かれておりますからその辺の流れがどうなのかを見て検討すべきだと思いますので、委員長が言われた次回かは分かりませんが、遊佐小学校に足を運ぶ、それで各委員が現場を見ることは賛成です。あと周りを見て狭い広いそういう意見が最終的にプレハブとか色んな議論が出てくるだろうと思ひますので、現状の中で改築あるいは仕切り等でどの程度まで可能なのか、その辺の部分まずは確認が必要では

ないか。

伊藤会長 ありがとうございます。それでは、副会長にこちらから指名させていただいてよろしいでしょうか。どのようなお考えでしょうか。

那須委員 今佐藤委員よりお話がありましたが、現場を1度見るということは大切だと思います。ただ今回適正整備審議会4回を向かえるということで、なかなか前に進むことができないような状況が資料の中でも多々出ていると思いました。実はそんな中、町P連で意見交換をしたいと思い、皆さんに集まって意見交換をさせていただいたのでその結果から少しお話をさせていただければありがたいと思います。

今回の答申の内容といたしましては、具体的な統合時期等についてということで、諮問をいただいておりますのでその件について意見交換をした結果について、地域の方々におかれましては、本当に前向きなご意見をいただいて、いつかは1小になる。ならなければならない。子どもたちのために環境作りをしなければならぬと意見もいただいて、本当に私たちPTAの代表といたしましてもありがたく思っております。その中で各小学校の会長の意見を聞いたところ、各PTAから出ている意見がいつ統合するのか。複式はだめなのか。意見が多々出ているようあります。PTA会長としては審議会の内容をPTAの会員の皆さんにいかに分かりやすく理解していただけるように説明をできるのかというところが1番の悩みだと意見として出ておりました。少しでも前に進めるような審議会の内容であればいいかなと思ひまして、やはり統合時期につきまして色んな意見が出ておりました。なかでも34年から複式学級が発生すると言われております高瀬小学校、現在複式学級がある蕨岡小学校、総合的な意見としましては子どもたちの環境作りが1番ではないかという意見でした。先ほどプレハブというお話もありましたが、PTAの意見としてはプレハブでの教室は避けてほしいと思っております。特別教室に関しましては色んな意見が出ましたが、特別教室の設備等に関して予算がかなり掛かるようですので、その辺も考慮していただきながら、現場を見ながらということで視察をさせていただければありがたいと思っております。その中で2つの意見が出ました。もし教室と設備投資等の予算が取れないのであれば、人数が収まる平成40年度が1案、その際にどうしても複式学級が発生してしまうところがありますけれども、そういうところを町の教育委員会である程度面倒を見ていただければという意見がありました。

もう1つは、今から複式が発生する34、35年、最低でも協議は3年必要ではないかというお話を、藤崎小学校の統合の際もそうですし、色んな方々の意見が出ておりました。その中で5小が1つにまとまるという中では3年は短いかなと思っております。1小1年という形で考えさせていただいても最短で35年くらいの統合が望ましいのではないかと。ただ35年度の統合に関しましては先ほどもお話がありましたが、人数的なキャパがありますのでその辺の予算をしっかりとっていただくという確約がなければPTA、地域の皆さんに保障と保険をかけていただかないと、この年度ははっきりと今回の審議会に出せないとなんな意見をまとめさせていただいたところでもあります。

そういった1つの意見を皆さんから聞いていただいて各ご意見をいただければありがたいと思っております。小中一貫に関しましては色々と未来ビジョ

ンがありますが、現在の中では小中一貫は考えていないというところもあります。P T Aでは少し意見交換をさせていただいて皆さんに発表させていただく許可を今いただいたと思っておりますのでご信任いただければありがたいと思います。

佐藤(憲) 委員 那須さんの今の発言は町P連の会長としての立場ですか。

もしそういう立場で発表するなら、我々委員10何名に皆さん方の意見を本心から伝えたいと思うのであればペーパーで持ってこなければ、我々メモを取れない、しゃべられても書けない。メモ持っているんですか。

那須委員 持ってないです。

佐藤(憲) 委員 普通は、町P連のどれだけの人数集まったとか、どこでやったかとか、そういうものがあってこの場で発言する。那須委員として発言するのはいい。ただこちらのP T Aの会長もみんな参加したのでしょうか。そういうところが、ただ流して聞いていいならいいが、委員の方々みんな真剣に聞こうと思っている。その時に色々としゃべられても分からない。その辺はもしこれから、誰も今まで4回やって統廃合、その時に色々課題がいっぱいあると言いつつも、その課題が私が今、冒頭聞く限りではP T A会長の皆さんがいわゆる平成24年にまとめた時の当時の計画がなかなか動いていない。それから今現在どこまで進んでいるかP T A会長自身が単独の小学校のP T Aの役員会あるいは親の中で素直に下りてないと思います。委員からありました。その委員がP T Aの中でそういう悩みがあるとすれば事務局を引っ張り出して連れて行けばいい。P T A会長に今年なったばかりで分からないからちょっと待ってと、それは今まで議論した途中経過からP T A会長5人がなんぼでもP T Aの皆さんに説得するのではなくて今までの経過と現在の進捗状況を教えるのが皆さんの役目だと思います。しかも、那須さんと今野さんは前回に唯一関わっている委員。そこ2点感じましたので。そういう意味では、予想されている学校の教室、現状を見る。それが狭いのか広いのか、当然これから次の委員会で出てくるわけです。誰もプレハブでいいと思っているわけではない。現状を見てから判断する。ソフトはこれからじっくりかけてやればいい。焦ってこれはだめではなくみんなで考えればいい。こういうところを整備してもらいたい。ソフトの面でという風に感じました。もし次回から冒頭で話すときは紙におこし、みんなに理解してもらおう努力をしてもらえれば、我々も同じ認識で発言できると思います。

伊藤会長 那須委員 佐藤委員ありがとうございました。そういうことで那須委員ありましたら。適切なご指導ありがとうございました。次回参考にさせていただきたいと思っております。ただ本当に各P T A会長もかなり悩んでおりまして何年という年度を出すことが難しい状況になっておりましたので、やはり皆さんの意見も聞いた方がいいかなと思ひまして、次回からこういう機会がありましたら是非書面にて色々資料を出させていただければありがたいかなと思っております。ありがとうございます。よろしくお願いします。

伊藤会長 阿部委員 ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。

高瀬小学校の阿部です。次回こちらの会議の方で小学校の教室の視察ということでお話があがっている。今子どもたちが入る教室にだけ集中して注目あびているようですが、実際統合するにあたって例えば駐車場というか屋外の部

分、果たして現状の屋外のスペースだけで足りるのか。例えば運動会等行事あるかと思うが、町全体から保護者なり家族なり集まってくるわけです。都市部の人口密集地のマンモス校と違って地域かなり広くて車社会ですので、見た限りではスペース的には余裕がないような感じがします。そういった意味で屋外の部分も視察するといいますか、例えば実際にスクールバス等で子どもたちが1つになった時は来ると思いますが、そういったところでのバスのスペースとか確保できるのかどうか。そういった部分も入れていただければいいと思います。

教育長 その通りです。ですからもし統合という時期を検討するなら付帯事項もきちんと添えてくださいと、駐車場も確保できるのですか。もしこの時期に統合するのであればこれだけの保護者が運動会やPTA総会で学校に来る。田んぼなりをきちんと購入するなりして整備する必要がありますとか、それからプレハブの教室は否定とありましたが、今のプレハブは立派なプレハブがあるじゃないかと思って、もし教室仕様できちんと校舎ともつながるように設置すれば、むしろ新しく1番いい教室ができるかなと思います。それから複式学級、消えたり出たりするわけですが、これ絶対悪いということではなくて、やはり適正規模の学校に整備していきましょうと前回の答申の趣旨だと思う。そして子どもたちが切磋琢磨して学べる学習環境とはどういうものかみんなで考えましょうということで、私がしゃべっていいのか分かりませんが、例えばこの暑さで昨日一昨日、県知事がエアコンの話を出していました。私も山新の電話取材がありまして、普通教室で全くエアコンが入っている教室がないのは山形県で遊佐町と酒田市と金山町だけだそうです。1つだけ教室に入っているのもカウントする。遊佐と酒田と金山だから緯度も北だから、色んな見方もあるでしょうけれど、そういったことも含めて子どもたちが学ぶ環境をより良い場に整えていきましょうと言う趣旨で私は考えたいと思います。けして複式だから悪いとか良いとかではなくて、大きい視点でこの機会にエアコンも付けばいいのではないかと、そんなことも議論に出していただいて、小中一貫も今考えていません。ではなくて今考えなくてもいいです。将来的にはやがて1小1中になるのであれば、おのずと小中一貫になるのではないのでしょうかということ、今の段階でしなくても将来的にはそういうことも含めて教育の中身として検討していきたいと我々の思いもある。

そういうことも含めてこの次は遊佐小学校をまず見ていただいてそこで会議をすることが1番いいと思います。今委員長から提案がありまして、ぜひ具体的に考えていただきたいと思います。時期につきましてはこの数字がありますので、なにも複式が始まるからしなくてはならないではなくて、もっと長い準備期間、先ほどの駐車場の問題、色んな条件整備を考えると相当年数いると思います。そういうことも含めて議論していただければ私はありがたいと思います。これは私の思いです。

伊藤会長 ありがとうございます。その他にございませんでしょうか。

伊藤（淳）委員 伊藤です。前回、佐藤（憲）委員から保護者からという意見もございましたので、先日7月14日に来春就学する保護者の皆さんにご意見をいただきました。お母さん方にすると第1は情報が足りないと広報等の中にも入っているのですが、子育てが忙しくて、文字に目がいきづらい。家族の中で目を通してい

るのでその部分だけを見ることはできないというか、そういうところもあったようです。広報や他の情報と一緒にせずに単独で、できれば難しい文章ではなくイラストを入れて一目瞭然というか、「なるほどブック すくすくジャパン」という新しい認定こども園、そういうところに行くときのものがあったのですが、これは保護者の皆さんからとても分かりやすかったということもあって、あのようなものがあつたらいいとご意見いただきました。一部の町民だけでなく遊佐町の皆さんの共通理解できる審議の内容が分かりやすいものを届けていただけるとありがたいということです。やはり統合は避けられないと思っております。なので反対とかそういう気持ちはなくて、前回から出ていますけれどそれがいつになるのか、あとは信じてますと、遊佐町の本当手厚く3, 4, 5歳児の無償化ということで手厚い遊佐町ですので、それは環境等のことも信じていますので、ただ情報等をいただきたいということでしたのでよろしくお願いします。

伊藤会長 ありがとうございます。

佐藤（浩） 教室の問題につきましては、図面で出ましたけれども、図面だけでは分かりづらい。ですから座長が現場をちゃんと見て色々検討したいということは大賛成でございます。特にトイレはどのようなになっているのか、災害時の避難する時にどういう場になっているのか、やっぱり現場を見なければいけないと思います。ただ基本的に考えますと、教育に予算をかけられないような町ではダメである、私個人の考えを持っています。やっぱり統廃合する以上は予算をかけないといい子どもたちができないと思ってます。大いに予算をかけて子どもたちに不自由させないように、例えば吹浦のことを考えれば、遠いところからバスに乗せられて学校に来るわけです。教室に入ったら狭くて環境が悪くて勉強がろくに出来ない。これはかわいそうです。この辺、いかに予算をかけるかも大事なことだと思います。私方も協力して持っていかなければならない。それから疑問に思うところが1つある。吹浦小学校の校長先生以下教職員にこの流れはどのように伝わっているのでしょうか。例えば、低学年のお母さんがあるクラスの担任の先生に統廃合の問題はどうなっていると質問した時に、その先生が答えることができるのでしょうか。あるいは答えて悪いのでしょうか。この辺が私疑問に思います。結論的に言うと情報の出し方、情報をいかにお母さん方、父兄に流していけるかが大きな課題です。そのことを思います。あと、この間吹浦地区の区長会がありまして、まちづくりの会長から提案がありました。極端に言いますと、吹浦は気が早い町なのではないでしょうか、いち早く統廃合する時期を決めた方がいいと、34年、35年になるらしいではなく、早めに決めて進むべきではないかとそういうことが出ました。それからもう1つはこれも早い問題ですが、あの立派な吹浦小学校が統廃合された時にどのようにして使われていくのか、統廃合されて時点からこの学校をどうするのかではなくて、今あたりから地域の意見を聞きながら、統廃合された時点でスムーズに空間を無くして施設を利用できるように持っていくべきだと吹浦の場合、そのような意見がありました。あとは私にまかせると大多数の区長からの意見でございました。

伊藤会長 ありがとうございます。大変吹浦らしい意見が出ていましてありがとうございます。それでは今の佐藤（浩）委員のお話、吹浦小学校の例をあげましたけ

れども、低学年の親御さんから先生に対して、教育長からお願いします。

教育長 まだ方針が固まらないうちは、校長であろうと担任であろうと我々であろうとこうなるとはしゃべられません。答申が出てもしゃべられません。教育委員会で方針をきちんとこういう風にやりますとなれば、これはあと方針ですから担任の先生1人の考えではなくて、教育委員会としてはこういう考えでこういうことを配慮して、子どもたちの教育条件を整備するそうです。それは説明できる。今の段階では、校長であろうと先生方であろうとまだ方針が決まっていないので分からないとしか言えないのが本音であってそれで進んで欲しいと思います。憶測でああなるこうなるではまずいのです。そのためにPTAの会合とかありますので、そういうところで確認していただく。もちろんPTAの中でご意見を述べていただくことも十分可能でございます。そういうことでよろしくご理解いただきたいと思います。学校の先生方1人1人の考えもありますし、つらい立場だと思いますがそこに徹していただくことかなと思います。ご理解いただきたいと思います。

佐藤（浩） 委員 私としては、学校の教職員、全部言わなくてもこのような流れがすぐに入ってきているのではないかと理解していました。というのは校長室にお茶飲みに行ったりする。地域のこととか、こういう問題は話したら悪いのでしょうか。

教育長 悪いということではなくて、子どもたちの教育条件をより整えるということで今代表の方が意見を届けますと、それが固まって方針が出る予定ですので、それまでお待ちくださいとそこまでしか言えないと思います。要はがんばっていただいているとお答えいただいていると思います。

佐藤（浩） 委員 それは分かります。学校側としてはいい。いいのだけれども情報はとても欲しい立場でいるわけです。と思います。計画は今の1年生2年生の父兄は特に関係ある。だから先生方にどうなると聞く場合が多いということ。そうすると答えられないと学校で言えない。情報はどれだけ流れているのか。細部まで言わなくても父兄には答える義務があると思う。その兼ね合いがどうなのかとお聞きしたわけです。

伊藤会長 その辺は今教育長がお話したとおり今審議中、その方向を皆さんでまとめて作り上げましょうという今過程の中にあるとご理解いただければいいということで、あまり先走ってああなるこうなるとは、質問されても答えられる状況ではないと審議会で一生懸命各地区の代表が集ってはつきりするように審議中だということでどうでしょうか。

佐藤（浩） 委員 その辺の情報を密にして流していく。情報交換するという意味が、審議中ということと情報を流すということと矛盾する部分があります。だから吹浦地区では早く統廃合することを決めた方がいいと、34年なら34年を目指してがんばる。そのつもりでやると言った方がいいという意見になると思います。

伊藤会長 佐藤委員の言わんとするところ分かりました。

今野委員 蕨岡です。前回もお話しましたが、蕨岡につきましてはこの審議会が始まりましてから意見交換を1回開いております。保護者の方から情報が少ないというお話があったということではありますが、私も審議会がきちんと進んである程度の方針が決まらない以上私自身も保護者にお話できないと思ひまして、意見を聞くことまでは言っていますが、審議会の中身については一切お話していない状況です。というのは、集まった保護者の中にも必ずしも私の思っている考

えと違う保護者もいる。その意見も取りまとめた上でこの審議会でお話させていただく上では、私が発言したことが保護者の気持ちを左右してしまっているといけないという思いがあるので、お話をしないできているということになります。一貫して私も聞かれることがあります。審議会でも月1回話し合いをしていますということで、例えばこの中で34年の話が出ているとかそういったお話しはするべきではないと私自身は考えています。あくまでもきちんとした皆さんの考えが出てからお話する上では問題ないと思いますが、事前に保護者の方から情報がないという話が出ているということがあったことに対しては、逆に我々会長たちがその旨を理解した上で、今はお話できる状況ではないということをお伝えするべきではないのかなと今のお話をお聞きして思いました。

伊藤会長 ありがとうございます。その他ございますか。

伊藤（悦）委員 実際の遊佐小学校に行ってみれば分かると思いますが、給食調理室ですが、これは、始まってから、自校方式での給食になると思うのですが、統合して460名、教職員を入れると500名近くの給食を作る事になると思いますけれども、この場合の給食調理室、この面積で足りるのかどうか、それともあとパンやご飯は委託するのか、そういうことも心配になってきましたのでよろしくをお願いします。

教育長 私がお答えしてよろしいですか。たぶん若干手狭になると思います。ただ中学校が近場にありますので、そこは民間委託していますが、まったく仮定の話ですが、民間委託に年間1000万円以上掛かっています。統合したらと仮定の話、そうすると民間委託をしなくて済む。5つの小学校で調理員を配置しているのを今度中学校に振り分けることできる。従って人件費も相当、民間委託分だけで年間1000万円以上5年間で5000万円、さっきプレハブの教室と言いましたが、1000万円のプレハブの教室を作っても間に合う。そういう話はしませんけれども、そういうことで例えば調理の中身でも色々あると思うんですけども、中学校で調理するものと小学校で調理するものを分けて調理して、すぐ温かいうちに食べなければいけない物は、中は中、小でして、両方合同で調理して運べば間にあう物は小学校に運ぶとかそういうことはあり得るかなと考えています。もちろん若干手直しすれば、給食室も大きくすれば作れるんだとなればそれは改築ということもあります。その辺も含めて検討できるかなと思います。

鶴岡あたりを見れば、小中学校合わせて50、60の学校がある。1ヶ所で作って全部配達ですから大泉のところに、学校で調理しているのは鶴岡ではありません。それに比べれば、それくらいは十分対応できると私は思っております。その辺も具体的に少し釜を増やす位でできるのであれば近場で、学校内で作った方がいいでしょうし、その辺もこれから検討する。その場合はどれくらい予算がかかるとかそんなことも含めて当然検討しなければならないと思っております。遊佐小の校長がいますし、職員室は大丈夫かと聞いたら職員室は大丈夫、結構広いそうです。体育館もできるし、音楽も。やっぱり普通教室が足りないのがネックと聞いています。これは遊佐小校長の声も聞いていますし、また具体的に話が進めばシュミレーションして予算を投じて直すところは直す。共有できるものはする。そういうところは考えていく必要があると思います。

伊藤会長 ありがとうございます。先ほど佐藤委員から教育に予算をかけないような町は消滅するんだと大変踏み込んだお話がございましたけれども、やはり子どもの学習環境の整備からそういった場面に子供をいかに大切に、教育環境を整えて、ハードの面でもソフトの面でも整えていい環境で教育をさせてあげたいというようなお話が出ておりますが、これも全て予算のかかることでございますので、総務課長もいらっしゃいますので参考としてご意見をいただければありがたいと思います。

総務課長 1つ先に紹介させていただきますが、第8次遊佐町振興計画の向こう10年の計画の将来像の1つに「子どもたちに夢を」というスローガン、テーマを掲げております。子どもたちの学びの環境整備はそういった意味でもしっかりと予算を投じるあるいは人的な体制を整える。ということが遊佐町の行政運営の基本の1つであると考えております。ただ大いに予算をかけるべきだとか、くり返しの指摘になりますが、予算の確約というのは、その気持ちはしっかりと受け止めさせていただきますが、財政運営上のルールとしてそのように行かないかなと思っております。ただ今言えることは、しっかりと予算の備えをしていくことだろうと思います。その備えの仕方は色々あります。時間があれば後ほどお話をさせていただきたいと思います。いずれにしても皆さまから、未来志向、提案型の答申にまとめていただきまして、それぞれの皆さんの教育に懸ける思いを、あるいは子どもたちに懸ける思いを町でしっかり後押しできる財政でありたいと考えております。財政当局としてということもありますし、時田町長の思いとしてあろうかと思っておりますので代弁して申し上げておきたいと思います。

話を戻させていただきます。せっかく指名していただきましたので。本日この遊佐小学校の図面を示していただいて、校舎内改築も1つの有力な案として、例えば図工室、これは少々手狭だという課題がありますし、しからばランチルームのスペースの有効活用というお話もございました。あるいはプレハブのお話もありましたが、私は今の段階ではすべてありのスタンスでいるべきだと思います。まずは現場を見てそれから方向性が見いだせてくると思います。ただ1つさっきから気になっていた。プレハブという言葉に引っかかっていた。印象が悪いです。読み替えができないものかなと那須さんが専門なのかなと思いますけれども、読み替えといえますか。教育長がおっしゃったようにグレードの高いプレハブ、今風の言い回しとして表現ができるのではないかな。決して偽装表示ではなく、あるのかなと、その辺も事務局から研究、調査していただいてできれば印象の悪い言葉は使いたくないなと素人っぽい話にしかありませんけどそのように思います。あと最後ですが、この審議会の基本的なスタンスは、私は行政の代表としての立場で思う。前回の審議会の答申と教育委員会の方針、具申、決定があるわけですので、そこを軌道修正しなければならない重要な事案が発生しているなら別だと思いますが、そうでないならやはり前回の基本方針を踏襲するというのがまず審議の基本、前提、出発点になると思いますので、またそこに立ち返って、フィードバックしていく形になれば、だんだん議論も収斂していくかなと思って皆さまの審議を伺っておりました。色々な観点から議論いただいていることを改めて私からも感謝を申し上げます。

伊藤会長 ありがとうございます。色んな意見も出ましたけれども、総務課からの意見、そういう方々がこういうことを思っているという視点でご要望的なものもあるということでございます。教育長からお願いします。

教育長 先ほど吹浦地区から大変貴重なご意見をいただいたと思ったんです。例えば、もちろん今はまだいつ統合するか決まっていますが、全部仮定の話になりますが、当然統合すれば学校は4つ、藤崎、高瀬、吹浦、蕨岡、遊佐小以外はみんな空き校舎になる。それをどう生かすかは大きな町の課題です。それは空いた学校だけではなく空いた土地もいっぱいあります。有効活用できないかというご意見もある。当然そういったことは先ほど私が申しあげた付帯事項にせっきく立派な建物があるのだから1番いい方向で活用してほしいと、まさに付帯事項に1項持っていただくということです。ですから佐藤委員は気が早いとちらっと言ったが、そうではなくて、それが本当だと思います。それが決まればその他の具体的に蕨岡はこれに活用できる、吹浦はこれに活用できるとか議論ができる。ただこれが今、結論が出ないうちは動けないことは町の現状であることを理解していただきたいと思います。ですから付帯事項のところにはここもそこも必要な予算はかけて環境を整えていただきたい。もちろん子どもたちの条件が第1ですが、そのために議論いただきたい。もう1つお伝えしたいのは、3、4日前に三十路成人式が今年は8月11日にある。その中で30歳というのは、まだ独身の方もいますが、結婚して子どももいる方がたくさんいる年代。もう成人式から10年経って1人前になって中堅でがんばっている皆さんから町長への質問が毎年3、4つ出るのですが、その中に教育委員会で町長が答える答えの原案を書いてくれと来た質問の中に小学校の統合の問題、どのように決まるのか。ぜひ我々こういう立場、小学校に入る前の子どもたちのいる親の間では早くまとまって、子どもたちの教育条件をよりいいものに、予算を惜しまないでがんばって欲しいとそういう質問が来ておりました。ただ審議中ですので、町長がどこまで踏み込んで答えるのか一任するわけではないが、この前若い方々学校に就学する前の子どもを持っている親の声も聞くべきと、今杉の子幼稚園の伊藤園長からは一部声をいただいたわけですが、そういう質問も町の方に寄せられていることをお伝えしておきます。

伊藤会長 ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。

伊藤（淳）委員 今教育長からお話ありましたけれども、これまで何度も皆さんとお話した中でやはり子どもたちにとってのより良い教育の場それから関わりの場としての学校をつくるというところを決めてこそその付帯事項、じゃあ何があるのか。どうクリアするかは次のこと。現在分かる遊佐小学校のクラス数と今現在の子どもたちの数。ここに収まるかとかではなく、まずは1桁のクラスの学校がある。蕨岡小学校ではすでに一緒になっているクラスがあるということ。保護者の中ではそれさえも知らない。蕨岡ではそういうクラスがもう発生していることも知らない保護者もいるのです、この間お話した中で。もう身近なこととして自分たち、遊佐小の保護者は危機感がないです。高瀬、蕨岡それから吹浦、藤崎となると、1桁のクラスのある保護者はできれば早くという声も私に届いております。皆さんでお話して色んな問題点が出てくるが、毎回具体的な統合時期というかそれがあある程度ここに向かってと言うようなものを決めて、今の付帯事項等のことをあげてクリアしていくのはどうなんでしょう。

伊藤会長 ありがとうございます。

今野委員 今お話あった中で、早く一緒にしてほしいという話があったこともあるが、その部分については今後入ってくる保護者ということもあると思います。ただ逆に現蕨岡のPTAとしては、時期尚早ではないかということもありますので、そこは皆さんで議論して決めていただくことでよろしいのだと思います。ただ最初冒頭に那須さんからお話がありましたように、私たちの1番大事なのは子どもたちの環境。それは前回適正整備委員として1学年2クラスくらいが適正であろうと答申を出させていただいてそれが基になって今回適正整備審議会が開かれているということになる。そうするとある程度子どもの環境どういうふうになるのか、そこが想像つかないうちに何年ごろと年度を先に決めてそこに付帯事項を付けていくというのは、少し違うと私は現段階では思っています。特に前回の適正整備審議会もそうだった、ここで答申を受けているのは年度の問題と付帯事項、我々が答申したものがそのまま議会に上がるのではないということは皆さんご理解いただいていると思いますが、我々が答申したものを基に教育委員会が方針を定める。この定めたものが議会に上がって議会が通るか通らないかになってくるので、だとすれば何でも付帯事項に入れてということではないのではないかと私は考えます。

伊藤会長 ありがとうございます。この辺は時期を決めるのが先なのか、環境を整備するのか先なのか。というようなとらえ方を私は感じておるところでございます。我々の答申の順番といたしましては、統合小学校への実施時期等と2番目に付帯事項の答申。そういったことから言いますとやはり年度をある程度絞って今まで3回の審議会をやってこられた皆さんのご意見、流れを聞いておりますと

「統合はいい、やりましょう」「じゃあいつやるの？」それから「どこにするの？」この2つ。「場所はキャパ的に遊佐小学校」ときている。「遊佐小学校に1つになるとしたら19ルーム必要」ここまで来て、「ただそれは実際に目で見てみないと分からないので皆さんと一緒に視察して生の目で皆さんで見ましょう」というようなところまで今来ている。ただ時期的なこと、皆さんの話をまとめると34年の高瀬小学校の複式、これが1つのターニングポイントのような感じがする。その翌年の35年を1つのポイントとして、1校にしたらどうか。理由としては1対1の統合ではございませんので4校の学校が遊佐小学校に入るといようなことになれば、例えば藤崎小学校、吹浦小学校、高瀬小学校、蕨岡小学校、この4校の学校との関わり合い方とか付帯事項がいっぱい出てくる。先ほど冒頭もありましたが、駐車場はどうかとか色々な問題が発生してくる。そういうものを考えた場合にやはり4年は必要だろうとそういうようなご意見も出ているわけでございますので、私の、皆さんのご意見を集約するに当たりまして、平成35年の年を1つの統合の時期ということはどうなのかと私、立場として委員長としてはそんな気持ちでいるところでございます。皆さまいかがでしょうか。

佐藤（憲）委員 今委員長からお話がありましており、平成24年の、お2人のPTA会長がおられる3月27日にいわゆる審議会から教育委員会に情報更新として確認したこと、他のPTA会長もありましたが、その前段に町立小学校においては、複式学級を設置しない。という1項目があって、2番目に適正規模として

各学年2学級以上12～18学級という基本方針は第1回目の審議会で私の方で確認させていただいております。今、今野委員の言っていることになるとこれはいつになってもまとまらない。複式学級、蕨岡ではこういう意見もありますということを、ここに理解を示していただかないと今毎回ずっと言われると那須会長は町P連で色々な意見を先ほど言いました。中身が違う。だから複式学級は設置しないと基本方針として出ているわけだからそこに従って進んでいかなければこれは次回決まらない。どこに一緒になるか学校を決めないと色々な悩みがあるわけだから学校は早く決めた方がいい。今当然遊佐小学校ということで進んでいる、これは間違いないと思う。ただ遊佐小学校ができた時にこれだけ大勢の生徒が集まることを想定していなかったのも足りないものはいっぱいあります。それはまさにこれからどういう風に進めていくかいっぱいあるので、それはその次。それから3つ目、統廃合の学校をどうするか。これも委員みんなで答申の中に入れたらいい。こういう形で使おうとか我々の役目だと思っています。だから今言われている34、35年は、まず複式学級は作らない。そこに視点を合わせて進めていかないとその間暫定。暫定と言っていたら大変なことになってまとまりません。だから基本方針に従ってこの審議会も進める。私はそういう考えで1回目から発言をしておりましたし、そういう気持ちでございました。

伊藤会長
太田委員

ありがとうございました。
今のと関連があるか分かりませんが、私はまだ審議員になって3回目4回目、でも蕨岡小学校で統合になるかならないかという話があったときから一般の町民たちは遊佐町立小学校において複式学級は設置されないという認識は遊佐町民としては持っていると思います。私たちは何も知らない、それはおかしいことであり、やはり町民であってある程度の遊佐町でこんな話が行なわれているそして複式学級が発生するようなときはがつく。それが狙いで統合になるだろうと、そういう意識はかなりの町民が持っていると思いますし私も思っています。ですから何回も同じような資料が出ています。オレンジで塗りつぶされている高瀬小の8、8、これは蕨岡小の今年度のような例外的なものはあるんですか。特別支援の児童がいるから逃れたというのは私納得いきません。たまたま教務主任が配置されているから何となく外から見ても教員も足りている。取り繕いみたいな感じがしないでもない。あんなに複式をやめようと何年も前から相談してきたのであれば、やはり私たちはそれに向けて前進をしていかないと毎回2回目3回目同じような話題になるのが委員会かなと私自身意見を述べられないジレンマが今日あたりは生じています。ですからやはりこの協議では山形県のさんさんプランで19クラス、それが35年になると17クラス、でもその19クラスの時に発生する高瀬小の複式学級を高瀬地区の方たちは納得できているのかなと、高瀬の人たちは34年に8、8だから自分たちの地域は当然複式になると意識を持っていないのかなと逆に私は感じました。ですから今委員長からありましたように、34年か35年、34年であればむしろ例外、暫定的なやり方として35年に統合を控えているけれど1年間は何とかという形で持っていた方がはっきりする。目標がないところでどんな理屈、どんな条件が悪いとか始まっても進まないとは私は思いました。3回の委員会での感想も含めてです。

伊藤会長 ありがとうございます。色々なご意見も出ましたけれどもこれだけは言いたいというご意見等ありますか。

私は先ほど申し上げましたように我々の答申という内容は、課せられたものは実施時期、諮問に答えなければいけない。答申するという状況になるわけですが、34年の高瀬小学校の複式というのが、今8, 8で予測ですがなるだろうということ。そうなるとこの部分は35年に1つになると仮定すれば、34年は何としても教育委員会から絶大なるご協力をいただいて高瀬小学校の複式を守ってもらわなければならない。先生も含めて、教育環境も含めてすべて。ですからそこを教育委員会に何とかがんばってもらう。こういう要望もしないといけませんし教育委員会でも考えておられることと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 先ほど蕨岡小学校が複式学級になったが6学級で一気に先生2人が吸い取られることがなく条件付きで緩和されている。よかったと思って本当は複式にならなければ1番よかったのですが、ただこの段階が今の蕨岡のような状況になるのかそうでない状況になるのか。まだ分かりません。子どもたちがまだ小さいからです。そこを言わないと何ともならないが、教育委員会としてはできる範囲で学習支援員の配置や手当を十分にすることは確約できます。ただ担任の配置は財政的にもできません。制度的にはできるようですが、それは町としても町長以下もしないと思います。人事管理が大変です。1回先生を雇ってしまうと定年まで雇わなければならない。ご理解いただきたい。

伊藤会長 ありがとうございます。私の協議の進行が粗末でございまして、現在は(2)の遊佐小学校に統合した場合のところから延々に進んでいるわけですが、(3)意見交換、具体的な時期等についてとございますので、ここを具体的な年度、時期等を含めて皆さんの方から、私は先ほど私の思いをお伝えさせていただきましたがけれども、皆さん、嫌と言うようなまた違ったご意見等あれば挙手の上お願いします。

那須委員 先ほど会長から35年というお話がありましたけれども、教育長からもお話ありまして、人を雇う予算がないということでこの児童数でいけば34年の高瀬小の複式からという形になるが、私の意見としては3年間しかない期間はとても短いと思います。最低でも4年とっていただく形でこれからの審議会を進めていけるよう私は35年に1つの目途を取ってもらった方がいいのではないかと思います。先ほど言いましたけれども、予算等の絡みもありますけれども、その辺もしっかり協議の中でやっていただければ35年を1番の目途になってくると思います。

伊藤会長 ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。
ないようですので、平成35年ということで統合時期、賛成の方挙手お願いします。

伊藤会長 ありがとうございます。10名の方に挙手いただきました。これはあくまでも決定ということではございません。これで発表、お話することはまだ禁止事項ということでご了承いただければありがたいと思います。そしてまた今後の進め方としては一応35年ということをもとに、今度は付帯事項とするものが

どんどん発生してきます。大なり小なりいっぱい出てきますので、基本はあくまでも児童の教育環境の整備、これに尽きると思います。その辺を重点的に皆さんと議論していけばいいなと思っております。②その他に入ります。その他で何かありますでしょうか。

佐藤（憲） 前回、遊佐のまちづくり協議会、西遊佐と蕨岡の若年層のお母さん方の意見
委員 聴取方法について、どういう形で考えられるかを聞きたい。

教育課長 それでは事務局として答えさせていただきます。前回、今佐藤委員からお話
がありましたとおり、今の幼稚園・保育園の保護者の皆さんのご意見をお聞き
していただきたいとございました。先ほどこの審議会の情報が流れていないと
お話もございましたので、後ほどお答えしたいと思っておりましたが、中間答
申という形で、これまでの今の平成35年という1つの案も出ましたので、そ
ういったことも踏まえて全町的に中間答申という形で出したいと思って・・

教育長 そうはいかない。答申案をきちんと出して、もう1回議論してこの次、答申
案を文書でまとめる。

教育課長 次回出すのではなく、その案を出させていただく。それを皆さま方から議論、
協議していただくこととなりますが、中間答申の時に一緒に幼稚園・保育園の
保護者あてにアンケートを取らせていただき、そのアンケートの様式も後ほど
中間答申の案と一緒に出させていただきます。皆さま方からご協議いただき
たいと思っているところであります。先ほどPTAの皆さまから環境整備とい
うことで確約みたいな話が出ておりましたが、話がずれますが、町としては計
画行政という形でどうしても予算化する場合は振興計画という形で具体的な
年度をのせる必要がございます。ですので、統合の時期がはっきりしないと予
算要求もできないという形になります。まずはその辺をご理解いただきまし
て諮問の大前提の統合の時期としております。予算の絡みでその時期が、ま
ず決まらなければ何ともならないという形でありますので諮問しているわけ
でありまして、ご理解願いたいと思っております。

松本委員 質問よろしいでしょうか。中間答申のお話出ましたので、中間答申という形
で町民の方に下ろす形になると思うのですが、地区住民への説明会みたいな
ものはしないで、それで終わりという形になるのでしょうか。

教育長 前回の時も中間答申をいただいた段階で6地区に説明に上がります。ご質問
も受けますしお答えもします。佐藤委員からも若いお父さんお母さん方、保
育園・幼稚園のお子さんを持っているお父さんお母さん方の声は吸い上げたい。
ですので、また地区とは別に若いお父さんお母さん方は忙しいからどれくらい
おいでになれるか分かりませんが、その説明会も設ける必要がある。それに
絡んで先ほどアンケートをその前にしておいて、そういう流れを考えておりま
す。ですから中間のまとめという形でこの審議会としてはこういう方向で進め
たいと説明会をしてご意見もいただいて、ですから中間答申は最終決断ではあ
りませんので、その後色々な意見があったけれども部分修正当然入るでしょう
し全くだめということもあるのか分かりませんが、説明会を経て年末と我々は
考えていましたが、もっともっと慎重な審議が必要となれば年度末まで遅れて
もしようがないと思います。そういう手順は踏む予定です。町民説明会、若い
お父さんお母さん方も含めて、踏みたいと思っております。それが合意形成の
大前提だと理解しております。

伊藤会長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。

以上、今日の協議内容につきましてはすべて出ましたので、事務局にお願いします。

教育課長 ありがとうございます。具体的に平成35年度というお話も出ましたので、少しは進展していただいたかなと思っているところであります。その他の次の日程になりますが、事務局としても遊佐小学校の図面を出した関係上、遊佐小学校で会議を開き、現場を見ながら皆さまに協議していただけたらと思ったところです。次回8月23日午後7時から遊佐小学校の会議室をお借りしてこの審議会を開催したいと考えておりますのでよろしくお願いします。

今野委員 次回8月23日7時からということですが、例えばなかなか他の学校の校舎を見たことないですし、これだけ詳細な図面が出てくるとすると、例えばランチルームとか図工室、生活科室等も具体的に大きさを見せていただくにあたって、7時からだと見たあとだと議論の時間が少なくなってしまうのでしょうか。同じ日の方がよろしいのでしょうか。

教育課長 皆さま方が時間よろしければ早目の開催という形にしてもかまいません。

伊藤会長 それでは6時30分ということでご了承いただきたいと思います。

教育課長 ありがとうございます。

後ほど詳しい通知をお上げしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。なお、前回のご意見の中で各地区から小中一貫のお話も出たところもございました。これは今という話ではありませんが、将来的にはそういう方向もあるということは皆さま少なからず思っている方もいらっしゃると思っておりますので、そういった研修の機会も9月あたりに、本当は審議会をお休みさせていただくかなと思ったのですが、皆さまの都合がよろしければ、こちらでこういった研修をしたいか提示させていただきますのでよろしければですが、こちらの案を紹介させていただきますのでよろしくお願いします。

指導主事 指導主事をしております佐藤と申します。ただ今小中一貫教育のお話が出ました。小中一貫教育とは具体的にどんなものなのか、少しお話を聞く機会をもつことをできればと思っております。具体的には京都市の例をお聞きできればと思っております。京都市は小学校が159校、中学校が67校ある非常に大きな市ではあるわけですが、ただ各学校自体の人数や学級数はそんなに多くないようです。学級数も小学校ですと6学級から11学級ということでそれほど大規模というわけではないようです。また京都市では昨年度、小中一貫校の全国大会が行なわれておりまして、今年度はへき地教育の全国大会が京都市で行なわれております。京都市は様々な先進的な取り組みをしているところでありますので、ぜひそういったところをお聞きできればと思っておりました。京都市の場合は、小中一貫教育については平成23年度から全ての学校で取り入れているということでした。中学校区の状況において様々なタイプの小中一貫教育に取り組んでいるということですので遊佐町も参考になるような事例をお聞きできるのかなと思っております。京都市教育委員会の方からは職員を派遣することができますとお返事をいただいております。ぜひ、なぜ小中一貫教育を取り入れたのか。そのメリットデメリット。そういったものを具体的にお聞きすることができるかとまた1つ考えが深まってくると思っておりますのでどうぞ

よろしくお願いします。

佐藤(浩) 委員 その件に関して、議員が京都の方に視察に行ったというのはそのことか。
教育長 それとは別です。

もし統合の過程で、すぐにするわけではなく将来的に子どもたちの教育環境を整えるという意味では勉強してそういうことも視野に入れて遊佐町の子どもたちのため。もちろん学校の先生方から1番勉強してもらいたいと思っています。

教育課長 8月ではなく、京都の指導主事の方が9月でないと来れないということでありましたので、9月の2週か3週目でないと来れないということです。場所も夜間の夜の開催にしたいと思いましたので、審議会のメンバー以外にももしお聞きしたい方がいたら一緒に聞いてもらいたい思いであります。そういった形で研修会を開催してもいいということであれば計画したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

伊藤会長 今事務局から提案がありましたが、皆さまいかがでしょうか。
事務局一任ということですのでよろしいでしょうか。
ありがとうございます。

教育課長 ありがとうございます。9月の研修会、事務局の方で計画させていただきたいと思います。本日は色々具体的な意見まで出していただきまして本当にありがとうございました。8月は遊佐小学校で6時30分参集になりますのでよろしくお願いします。本日はありがとうございました。